

33 透析安全針の臨床評価

長野県厚生連佐久総合病院 臨床工学科

◎中野 佐保里 秋山 康則 伊藤 利弘 (看護部) 芝田 房枝

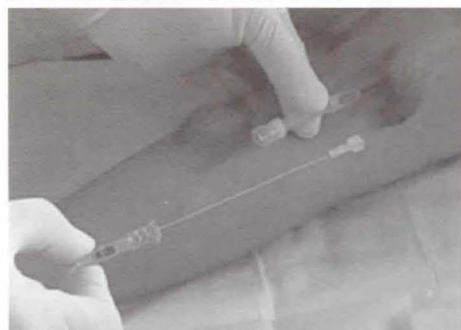
(同内科) 山口 博

I. 目的

近年、院内感染が問題化する中であって、患者のみならず現場で働くスタッフに対しても「より安全な業務環境」を提供していく事は、「安全管理上」の重要な責務である。今回我々は、「針刺し事故防止」を目的として開発された「透析用安全針」二種類の製品を選定し、小海分院を含む透析スタッフ30名を対象に安全性、操作性、機能性に付いてアンケート調査を中心に臨床評価したので報告する。

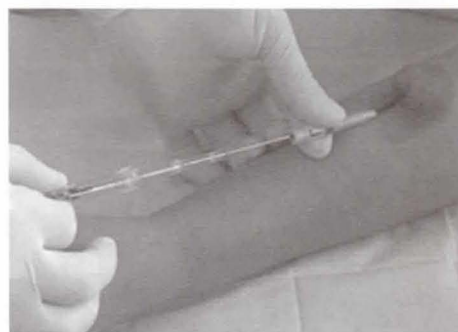
II. 安全針の種別

1. N社製、セーフティ機能付きメディカットカニューラ（通称：メディカット）の操作手順



メディカット安全針は、針先をプロテクターでロックする事により、針刺し事故を防止します。

2. M社製、止血弁付きハッピーキャスV（通称ハッピーキャス）の操作手順

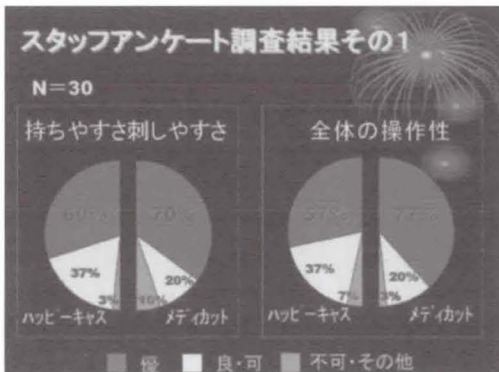


ハッピーキャス安全針は、内筒全体をカバーする事により針刺し事故を防ぐ機能があります。

III. アンケート調査結果

1. 持ちやすさ刺しやすさ・全体の操作性

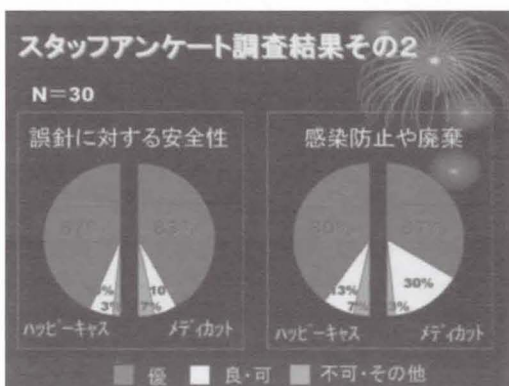
透析スタッフのアンケート調査による、評価をグラフに示します。いずれのグラフも、メディカット安全針が若干ですが良好との結果でした。



2. 誤針に対する安全性・感染防止や廃棄

肝心の「針刺し事故に対する安全性」の比較をグラフに示します。いずれの安全針も針刺し事故については、ほぼ満足出来る製品である事が理解できます。

一方、感染防止や廃棄については、ハッピーキャス安全針がやや良好との結果でした。汚染された内筒全体をカバーする点が評価されました。



V. 緊急離脱

ハッピーキャスの独自の機能である逆流防止弁について解説します。

この機能は、透析中の一時離脱や緊急離脱に適応します。離脱セットや前準備が全く必要なく、止血弁を閉じるだけで簡単に離脱できます。現在当院では、「緊急離脱は抜針で標準化」していますが、スタッフの手数や出血の危険、スピードなどが課題となっています。今後、この逆流防止弁による緊急離脱の方向性も検討すべきと考えます。

VI. まとめ

針刺し事故防止については、法制化をとる国さえあり、確実な針刺し事故防止策が有りながら、これをおこたり、事故に至った場合、管理上の責任を問われる事態も考えられる。今回2社の安全針の評価を行い、針刺し事故防止はいずれも有用と判断された。

メディカットは全体の操作性に優れており、ハッピーキャスの逆流防止弁機能は緊急離脱にも有効で、血液回路廃棄時の血液漏れにも適応した。

また、いずれの安全針も、リキャップの是非を問わない。など、今後も安全針の需要は高まるものと思われる。